



まなびい 掲示板

向川原 楽さん (葛巻中2年)
中学野球岩手県選抜として東北大会へ

向川原 楽さん (葛巻中2年) が3月に行われる第23回東北中学校選抜野球大会 (仙台市) の岩手県選抜選手に選出されました。県選抜選手の練習会は12月から始まっており、楽さんもレギュラーを目指して練習に励んでいます。

楽さんは「選抜チームの練習はレベルが高くつらいこともあるが、より上手くなるために普段の練習への意識も変わった」と充実した表情を見せていました。最後に意気込みを伺うと「得意な守備をさらに磨いて、まずはレギュラーを勝ち取りたい」と力強く話してくれました。



△葛巻中体育館で基礎練習に地道に取り組む楽さん



北中城村中学生との交流続く
寒さに負けない熱い絆を再確認

1月8日から11日の4日間、本町の姉妹村である沖縄県北中城村から北中城中学校 (上原充校長、生徒542人) の生徒12人と引率者4人が訪れ、町内中学生と交流したほか、酪農体験やワイン工場の見学

10日には北中城中学校の生徒と町内3中学校の希望生徒33人が森のこだま館で郷土料理作り、平庭高原スキー場でスキー体験を行いました。郷土料理作りでは、協力して作った料理に「おいしい」と感想を共有し合っていました。スキー体験では初めてのスキーに苦戦していましたが、町内中学生のサポートや指導のこともあり、笑顔で滑れるほど上達を見せていました。

中崎陽彩さん (江刈中2年) は「交流会で披露された北中城中のエイサーは迫力があつた。2日間お互いの町や学校のことを教え合ったり、たくさん話をするのができて充実していた」と感想を述べ、中川瑛允さん (北中城中2年) は「北中城村とは気候や文化など異なるが、人の優しさは同じで優しく接してもらった。葛巻町は思いがとでも詰まった地域だと感じた」と話し、町や人に触れることで多くのことを感じた様子でした。交流事業に参加した生徒らは別れを惜しみながらも再会を約束し、絆を深めていました。



①子牛に餌を与える北中城中の生徒②4中学校合同で作った郷土料理を味わう生徒ら③4校生徒が入り交じって行ったゲーム④へちまこ団子をこねる北中城中と葛巻中の生徒⑤初めてのスキーに挑戦した北中城中の生徒

第7回芸能まつり
芸能文化の魅力を存分に披露

第7回芸能まつり (同実行委員会主催) は1月19日に開催され、出演団体9団体約80人と来場者約120人が葛巻小学校体育館を訪れました。今回は初めて九戸村の文化団体を招待し、相互の交流も図るなど、芸能文化の継承や発展に向けた工夫を凝らして開催されました。

町文化協会の長岡功会長は「出演者の皆さんは練習の成果を発揮し、来場者の皆さんと一緒に楽しませよう」とあいさつをしました。

出演者は日々の取り組みの成果を披露し、来場者へ芸能文化の魅力を発信していました。



①馬淵川源流太鼓の会②オカリナ長岡教室③葛巻コーロ④葛巻神楽保存会⑤葛巻みんよう伝承会⑥花みづきの会⑦葛巻プラス⑧オカリナの会「葛」⑨九戸村舞踊研究会



出演者が一体となって葛巻音頭を披露